

警 察 署 協 議 会 会 議 録

早良警察署協議会

開催年月日時	平成29年4月26日 午後2時00分 から 平成29年4月26日 午後3時30分 まで	
開催場所	早良警察署 4階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下12名
	警 察 署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、 地域管理官、刑事管理官、交通管理官、警備課長 総務第一課長、総務第二課長、被害者支援係長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>早良警察署協議会の役割は、早良区・城南区の安全・安心のため、住民の方の意見や要望を汲み上げ、警察行政に反映していくことが使命であり、より一層活気のある協議会になるよう努力していきたい。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 警察署協議会は、警察法第53条の2に基づくものであり、警察事務の処理に関して、警察署長の諮問に応じるとともに意見を述べる機関であると法律上明記されている。 ○ 警察署協議会設置の背景は、平成12年に相次ぐ警察不祥事を受けて、民間の有識者で構成する警察刷新会議において緊急提言がなされ、その一つに国民の意見・要望の把握と誠実な対応があり、警察改革要綱で警察署協議会の設置が決まった背景がある。 ○ 管内情勢については、早良区と城南区の2区を管轄しており、県内政令市では唯一、二つの区を受け持つ警察署であり、管内人口も約35万人で、九州の警察署の中では一番多い管内人口である。 署員の平均年齢が36歳代と若い構成で、署には15の課があり、これら複数の課を各管理官が掌理して業務運営を行っている。 管内の特徴は、西新を中心とした副都心や住宅密集街がある一方で、南部は田畑が広がり背振山などがある風光明媚なところでもある。 		

議 事 概 要

警察事象も多種多様であり、西新周辺は飲酒に絡む暴行・傷害、保護等がある一方で、南部では動物出没の通報等もあり、バラエティに富んでいるところがある。

- 昨年の刑法犯の発生は3,298件で前年比-774件と大幅に減少し、防犯カメラの設置等の各種施策が功を奏していると考えられるが、この数値は県下で3番目に多く、引き続き諸対策を講じていく必要がある。
- 警察署の分割については、3月に県警察は県議会に対して城南警察署建設のための調査費を計上し、5年後の平成34年4月を目処に、仮称城南警察署を開設する見通しを示しているが、早良警察署として、現在の管轄区域の安全安心を守ることに専念していくので御理解をお願いしたい。

【各課からの報告等】

1 犯罪抑止対策について〔生活安全管理官〕

(1) 管内の犯罪発生状況

ア 刑法犯認知件数（平成28年中）

イ 管内のニセ電話詐欺の被害状況（平成29年3月末暫定値）

(2) 犯罪抑止に向けた取組み

ア ひたたくり抑止対策

○ 多発時間帯、場所に対する重点的な街頭犯罪・パトロール

○ 非行少年の街頭補導活動

○ ふっけい安心メール、みまもっち等の情報発信

イ 乗り物盗抑止対策

○ 関係機関との連携

ウ 性犯罪抑止対策

○ 公然わいせつなどの前兆事案を含めた事案分析

○ SDE（自己防衛教育）など女子学生等の被害者層に向けた広報啓発

○ みまもっち等を利用したタイムリーな情報発信

○ 防犯カメラの設置促進活動

エ ニセ電話詐欺抑止対策

2 主要な事件検挙について〔刑事管理官〕

(1) 大学生を対象とした男3人組による連続強盗致傷、恐喝事件

(2) 元老人ホーム職員による住居侵入・窃盗事件

議 事 概 要

3 管内の交通事故情勢について〔交通管理官〕

(1) 人身交通事故発生状況（平成28年中、平成29年1～3月）

(2) 人身交通事故の特徴的傾向

- 通勤、通学時の事故が特に多く、事故全体の64%を占めている。
- 交差点及び交差点付近における交通事故は931件で、事故全体の52%を占めている。
- 事故類型では追突による交通事故は582件で、事故全体の32%を占めている。
- 前方不注視と安全不確認違反による交通事故の合計は1391件で、事故全体の77%を占めている。

4 国民保護について〔警備課長〕

【報告事項に対する質疑応答】

- 委員から、「早良警察署の刑法犯認知件数が減少とあるが、福岡県警全域における傾向なのか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から、「県全体でも平成14年をピークに減少傾向は続いており、早良警察署においても同様の傾向である。」旨の回答があった。
- 委員から、「子供への声掛け事案が発生し、パトロール強化方策をしているとあったが、その他どのような情報の共有方策があるのか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から、「スクールサポーターを配置して警察と学校を繋ぎ、情報共有を行い、また小学校及び家族、地区防犯ボランティア等でも連携を図り、同時に携帯電話のアプリ「みまもっち」等で、声掛け事案等の発生があれば情報発信し、同時に警察として犯罪行為に触れることがあれば検挙活動もやっている。
特に、小学生であれば、学校、親及び地域と連携し、管轄する交番にも発生時間帯を中心にパトロール警戒活動を実施するなど個別の発生状況にあわせて対応している。」旨の回答があった。
- 委員から、「ネット通販詐欺については、被害が少額の場合で被害届を提出しない場合があり表面上より実際の被害者は多いのではないか。」旨の質疑があり、刑事管理官から、「ネット詐欺の特殊性から立証が困難な場合が多いが、出来る限りの捜査をしている。」旨の回答があった。

議 事 概 要

- 委員から、「国民保護について、地域にとって安心できる警察署あるいは区役所などが災害時の地下設備のシェルターにならないのか。」旨の質疑があり、署長から、「警察署の地下シェルター等の構想については、警察署改築問題もあり、近い将来、避難先等について検討しなければならないと考える。」旨の回答があった。

【会長総括（要旨）】

- 警察署協議会そのものが、地域住民と警察の架け橋ということで、地域と警察が一緒になって取り組むことが大前提である。
- 今後も意義ある協議会として、皆様のご協力をお願いし、お互いが協力して意見・要望等を出し合いながら地域の安全安心に結びつけることが大事ではないかと考える。